

文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「○」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00001

おやゆずりのむてっぼうでこどものときから
そんばかりしている。
しょうがっこうにいるとき、がっこうのにかいからとびおりて
こしをぬかしたことがある。
なぜそんなむやみをしたときくひとがあるかもしれぬ。
べつだんふかいりゆうでもない。
しんちくのにかいからくびをだしていたら、
どうきゅうせいのひとりがじょうだんに、いくら
いばっても、そこからとびおりることはできまい。
むしやーい。とはやしたからである。
こづかいにおぶさってかえってきたとき、
おやじがおおきなめをしてにかいぐらいから
とびおりてこしをぬかさやつがあるかといったから、
このつぎはぬかさずにとんでみせますとこたえた。

○の数: _____ 個

日付: _____ 月 _____ 日



文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「○」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00002

わがはいはねこである。

なまえはまだない。

どこでうまれたかけんとうがつかぬ。

なんでもうすくらいじめじめしたところでにやーにやー
なっていたことだけはきおくしている。

わがはいはここではじめてにんげんというものをみた。

しかもあとできくとそれはしよせいというにんげんで

いちばんどうあくなしゅぞくであったそうだ。

このしよせいというのはときどきわれわれをつかまえて

にてくうというはなしである。しかしそのとうじは

なんというかんがえもなかったから

べつだんおそろしいともおもわなかった。

○の数: _____ 個

日付: _____ 月 _____ 日



文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「○」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00003

ふたりのわかいしんしが、すっかりいぎりすの
へいたいのかたちをして、ぴかぴかするてっぽうを
かついで、しろくまのようないぬをにひきつれて、だいぶ
やまおくの、このはのかさかさしたところを、こんなことを
いいながら、あるいておりました。「ぜんたい、ここの
やまはけしからんね。とりもけものもいっぴきもいやがら
なんでもかまわないから、はやくたんたーんと、やってみ
たいもんだなあ。」「しかのきいろなよこつぱらなんぞに、
にさんぱつおみもうしたら、ずいぶんつうかいだろうねえ。
くるくるまわっては、それからどたつとたおれるだろうねえ。」

それはだいぶのやまおくでした。あんないしてきた
せんもんのでっぽううちも、ちょっとまごついて、どこかへ
いってしまったくらいはやまおくでした。

○の数: 個

日付: 月 日



文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「○」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00004

ごーしゅはまちのかつどうしゃしんかんで
せろをひくかかりでした。けれどもあんまりじょうずで
ないというひょうばんでした。じょうずでないどころでは
なくじつはなかまのなかではいちばんへたでしたから、
いつでもがくちょうにいじめられるのでした。
ひるすぎみんなはがくやにまるくならんでこんどの
まちのおんがくかいへだすだいろくこうきょうきょくの
れんしゅうをしていました。とらんぺつとはいっしょう
けんめいうたっています。うあいおりんもふたいろ
かぜのようになっています。くらりねつともぼーぼーと
それにてつだっています。ごーしゅもくちをりんと
むすんでめをさらのようにしてがくふをみつめながら
もういっしんにひいています。

○の数: 個

日付: 月 日



文字ひろい 文章をよみながら文字を拾ってみましょう

次のかな文の意味を読み取りながら、同時に「あいうえお」をひろいあげて、その文字に「○」をつけてください。(制限時間2分 程度)

NO.MH00005

あるふるいいえの、まっくらなてんじょううらに、
「つえ」というなまえのねずみですんでいました。

あるひつえねずみは、きよろきよろしほうをみまわしながら、ゆかしたかいどうをあるいていますと、むこうからいたちが、なんかいいものをたくさんもって、かぜのようにはしってまいりました。そしてつえねずみを見て、ちょっとたちどまってはやくちにいいました。「おい、つえねずみ。おまえんとこのとだなのあなから、こんぺいとうがばらばらこぼれているぜ。はやくいってひろいな。」

つえねずみは、もうひげもぴくぴくするくらいよろこんで、いたちにはおれいもいわずに、いっさんにそっちへはしっていきました。

○の数: 個

日付: 月 日

